

第5回定例研究会

「物の褻を見せるーソウルスタイル：人はどれだけの物にかこまれて生きているのか？」

第5回定例研究会の講師には、国立民族学博物館文化資源研究センター准教授の佐藤浩司先生をお招きし、「物の褻を見せるーソウルスタイル：人はどれだけの物にかこまれて生きているのか？」というテーマで講演いただきました。

佐藤浩司先生のご経歴は、下記の通りです。

【講師プロフィール】

1977年東京大学工学部建築学科卒業。工学修士。設計事務所勤務を経て東南アジア民家の調査研究をはじめ。最近は大阪の路上生活者と空き缶の家を製作展示した。事の顛末は『シリーズ建築人類学ー世界の住まいを読む』全4巻（学芸出版社）や『普通的生活』（INAX出版）、『ブリコラージュ・アート・ナウ：日常の冒険者たち』（青幻舎）にくわしい。1985～87年インドネシアに滞在調査。建築人類学を標榜し、インドネシアやボルネオの奥地をさまよって家の構造を調査していたかとおもえば、ソウルのアパートで冷蔵庫の中身をあらいざらいしらべていたりする。みんぱく特別展「2002年ソウルスタイル」（2002）、「きのうよりワクワクしてきた。」（2005）を担当した。

ホームページ：建築人類学者の眼 <http://www.sumai.org/>

講師

佐藤 浩司 氏（国立民族学博物館文化資源研究センター）

テーマ

物の褻を見せるーソウルスタイル：人はどれだけの物にかこまれて生きているのか？

講演日

2008年1月19日（土） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

申し込み

不要



メモを取りながら聞いていらっしゃる方も多くおられました。

